



活発に「熟議」が行われています！

県内の各学校で活発に「熟議」が行われています。今回の「C.E.P.O.ニュース」では地域の方や学校運営協議会委員に加えて、児童生徒が参加した「熟議」について紹介します。

1 「熟議」とは

「多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す対話のこと。様々な立場の関係者の一つがテーブルにつくことで、新しいアイデアや考え方がうまれます。」
(文部科学省「これからの学校と地域～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～」より)



2 「熟議サポート事業」を実施しています

県教委では、地域協育ネット協議会や学校運営協議会等における「熟議」の活性化を図るため、「熟議」サポート事業を実施しています。

サポートその1 『「熟議」パッケージ』の提供

各市町生涯学習・社会教育主管課や県立学校等に、「熟議」パッケージとして、「進行係のシナリオ」や、「導入時で使うプレゼンテーション」、「具体的な展開例」の資料やデータ等を提供しています。

サポートその2 『「熟議」開催支援プログラム』の実施

学校等からの要請を受けて地域連携教育推進室の職員が「熟議」開催地へ出向き、県教委・市町教委等と連携・協働して熟議を行います。

※「熟議サポート事業」について御不明な点がございましたら、当室まで御連絡ください。

3 児童生徒の参加による「熟議」の事例を紹介します

児童生徒の参加による「熟議」の事例をいくつか紹介します。

参加した地域の方や学校運営協議会委員の方からは「中学生が地区のことを考えてくれることは喜ばしい。」「中学生や高校生の考えを聞くことができる貴重な機会である。またこういう機会をつくりたい。」、参加した児童生徒からは「大人と意見を交わすことで、自信がついた。(中学生)」「自分の母校や地域のために、これからもしっかりと意見を出していきたい。(卒業生)」といった感想が聞かれました。

山口市立大殿中学校

「より地域に貢献するためのOTK活動（※大殿中学校の地域貢献活動のこと）の課題や改善点」をテーマに、学校、家庭、地域の方に加えて、生徒会役員が参加しました。また、生徒が各グループの司会や話し合ったことの報告を行いました。



教職員、学校運営協議会委員、PTA、中学生による熟議の様子



中学生による熟議の成果発表の様子

宇部市立上宇部中学校

生徒会から学校運営協議会の各部会（「学習支援部会」「地域連携部会」「環境美化部会」「健康安全部会」）に対して「小・中合同清掃」や「避難訓練の質の向上」等についての提案があり、活発に意見交換が行われました。



部会ごとに分かれてのミニ熟議の様子



中学生による熟議の成果発表の様子

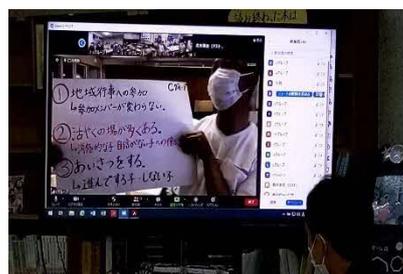
光市立浅江小・中学校

「15歳の浅江っ子像の現状～浅江っ子像策定後5年を経過して～」をテーマに、小・中学校の関係者だけでなく、光高校・光丘高校の生徒（浅江中卒業生）も参加し、熟議が行われました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインミーティングツールを用いて各教室を繋いでの実施となりました。



オンラインミーティングツールによる配信の様子



オンラインミーティングツールによる中学生の成果発表の様子

「熊毛学園」

（県立熊毛北高等学校、周南市立熊毛中学校、周南市立三丘小学校、周南市立高水小学校、周南市立勝間小学校、周南市立大河内小学校、周南市立八代小学校）

熊毛中学校区では「熊毛学園構想」を基に、小・中・高合同で拡大学校運営協議会を開催しました。

『熊毛学園で「育てたい子どもの姿」を考える』をテーマに、4つの領域部会「連携推進」「学力向上」「豊かな心育成」「健やかな体育成」に分かれて、各領域における「育てたい子どもの姿」について熟議を行いました。



熟議の中で中学生が主体的に話し合いに参加する様子



各領域部会のまとめの中で高校生が感想を発表する様子